



未来を見据えた私たちの乗務員勤務制度を 実現する9.10集会

9月10日
千葉市民会館



地本-支社間での要求実現に向けて 職場での議論と、組織の強化・拡大で 立ち向かうことを意思統一する！

地本は9月10日、乗務員勤務制度に関する集会を開催し、乗務員をはじめ、ライフサイクルの深度化を担う駅の仲間、工務や車両の仲間も駆けつけました。

集会では、本部-本社間交渉の特徴点を本部・長谷業務担当部長（千葉選出）から報告したほか、本部-本社間で締結した議事録確認をパワーポイントにて解説すると共に、地本-支社間の交渉に向けた申し入れ案を提起しました。

参加者からは「休日出勤が多すぎる」「乗泊では列車の騒音や振動、入浴の順番待ちによって満足な睡眠が得られない」といった切実な声や、取扱い誤りが多い中で“自分さえ良ければ”という風潮の広がりを感じ、健康的に乗務するには行先地の衣食住の環境整備が重要であるとの発言があり、地本の申し入れ案に反映することを確認しました。

要求の実現には、組織力が必要です。組織の強化(組合員の絆を深める)と、組織の拡大(東労組への新規・再加入の推進)を通じて「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある乗務員職場を目指すことを確認し、成功裡に終わりました。

本部-本社間の議事録確認に基づき、ダイヤ改正に向けて行路が作成されます。「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある職場を創るため、地本は集会での意見に基づき【制度の運用方法】【行路作成】【設備改善】等の観点で申し入れ、交渉を行います！